

HEART REPORT

第57期 中間報告書

平成25年2月1日～平成25年7月31日

(証券コード:7956)

CONTENTS

| | | | |
|---|-----------|----|--------------------|
| 1 | トップインタビュー | 7 | 当第2四半期累計期間の経営成果 |
| 3 | 事業一覧 | 8 | 主な経営指標 |
| 5 | ビジョンの私 | 9 | トピックス、株主アンケート、会社概要 |
| 6 | 私とビジョン | 10 | 株式の状況など |

このふりかけをかけると、

つめたいおにぎりもあったかくなっておいしくたべられるよ。



公益社団法人発明協会 第35回未来の科学の夢 絵画展 幼稚園・保育園の部 奨励賞

『ほかほかふりかけ』

育子会子供の城保育園 (山形県) 坂野 楓翔ちゃん



愛を生むは愛のみ。

経営理念「愛」

妊娠、出産、子育て、そして介護を通して、手助けを必要とするすべての人々に、「愛」を具体的な商品やソフトサービスの形にして提供しています。

代表取締役社長

山下 茂

トップインタビュー

Q.1 社長就任後3ヶ月が経ちましたが、この3ヶ月間を振り返っていかがでしたか。

A あっという間に過ぎた3ヶ月でした。社長就任前に担当していた海外事業については、ある程度課題を認識していましたので、就任後は、国内ベビー・ママ事業、ヘルスケア・介護事業、子育て支援事業といった国内での事業について、自らの目で現状を把握すべく、北から南まで、各事業所やお取引先を回ることにほとんどの時間を費やしました。実際に現場を見、現場の声を聞きながら、それぞれの事業をさらに成長させるための課題について自分なりに考えた3ヶ月間でした。来期から開始する第5次中期経営計画についても、自分なりに一定の方向性を見出せるものと考えています。

Q.2 第57期中間期決算の総括・評価を聞かせてください。

A 当中間期決算は、売上高は366億21百万円(前年同期比17.3%増)、営業利益は48億14百万円(前年同期比49.3%増)、経常利益は51億61百万円(前年同期比58.0%増)、四半期純利益は31億21百万円(前年同期比63.3%増)と、大変好調な業績となりました。

国内ベビー・ママ事業では、大型商品では一部遅れがあったものの、新製品の投入が非常に順調に進み、売上を押し上げました。子育て支援事業では売上は順調に拡大しているものの、人員確保の必要性から採用費が増加し、利益を圧迫する要因となりましたが、通期ではこの費用増分を取り返せる見込みです。また、へ

ルスクエア・介護事業でも、堅調に利益を出すことができております。海外事業も好調に推移しており、会社全体の成長を牽引している中国では、前年同期比2割増のペースで売上が伸長するなど引き続き勢いがあります。また、課題の多かった米国では、根本的な問題への対応が奏功し、売上・利益ともに大変好調に転じました。欧米では来期以降、哺乳びん・乳首の本格的な販売を予定しており、今後さらに売上を伸ばしていけると期待しています。

Q.3

海外事業では、インドでの工場建設についての発表がありました。インド市場での展開について、その戦略を教えてください。

A

インドに参入し今年で4年目ですが、「中国での成功をインドでも」と、期待の大きい市場だと認識しています。ただもちろん、法規制をはじめ輸入関税や流通の成熟度など中国とは様相が大きく異なっており、展開に際してはインドの市場特性に合わせた戦略が必要です。その一例が流通ルートですが、中国で成功したベビーショップではなく、薬局ルートを軸に製品を配荷した結果、当中間期は売上が倍増しました。当社のターゲットとする顧客層についても、富裕層の約半分が地方に点在するなど中国とは地理的分布が異なるほか、そもそもの商品情報が圧倒的に少ないために富裕層でも価格重視の消費行動をとる傾向があるなど、インドならではの難しさもありますが、ブランドを重視する点では中国と共通する一面もあります。

当社としては、競合との差別化ポイントとなる商品の付加価値情報を着実にお伝えしながら、当社ブランドの認知を浸透させていきます。同時に、より多くの顧客層に受け入れられる価格帯で商品をご提供できるよう、高い輸入関税を課されない現地生産の商品販売に向け、今般、哺乳びん・乳首の生産工場の建設を決定いたしました。新工場は、2015年1月の操業開始を予定しています。

Q.4

先ほど言及のあった第5次中期経営計画について、その方向性を教えてください。

A

社長就任以来、「真のグローバルカンパニー」を目指すことを抱負として述べてきましたが、そこで鍵になるのが「スピード」と「全体最適」の両立です。現場へある程度権限を委譲してスピードを速めつつ、全体最適を維持するために、グローバル・ヘッドオフィスのような位置づけで各機能を横串に統合して見る組織が必要になると考えています。

また、「真のグローバルカンパニー」では、経営品質の向上がキャッシュの絶対額の増加という形で出てくると考えています。そしてそのキャッシュを、事業への再投資や株主・従業員などさまざまなステークホルダーへ還元することで、本当の意味でのサステナビリティ(持続的成長)を実現できると思います。また、営業利益率などの指標についても、グローバル水準の企業に引けを取らないレベルになる必要があると思っています。

Q.5

CSRについての考え方を教えてください。

A

当社が事業を続けていられるのは、地域・社会の皆様の支えのおかげだと考えており、それを何らかの形でお返しすべく、育樹イベントの実施や中国では小学校校舎を毎年寄贈しています。しかしそれ以上に、当社が事業を続けることで、世の中に役立つ商品が生まれ、皆様の笑顔が増え、幸せになるのであれば、それも大きな社会貢献であると考えています。

Q.6

最後に、株主の皆様一言お願いします。

A

株主の皆様への中間配当金は、前年同期より22円増配の1株当たり66円とさせていただきます。また、より幅広い投資家の方々に当社株を保有いただけるよう、2013年8月1日を効力発生日として、1株につき2株の割合で当社株式の分割を実施いたしました。

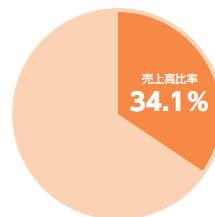
当社の海外事業は中国・米国といった主力市場が好調に推移しています。国内でも基盤となる国内ベビー・ママ事業で売上が順調に伸びているほか、ヘルスクエア・介護事業や子育て支援事業も着実に前進しており、次期中期経営計画下においては利益面でより改善を図っていきます。このように今後もさらなる成長が期待できますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業一覧

Baby Mama 国内ベビー・ママ事業

取扱商品・サービス

哺乳関連用品／離乳関連用品／スキンケア用品／女性ケア用品
 その他ベビー、ママ関連用品／IT事業／大型商品事業

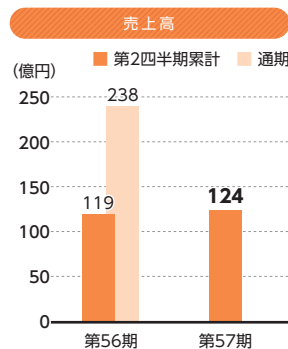


事業環境

出生数は2010年の107.1万人に対して2012年は103.3万人(推計)と、過去最低を更新しました。天災や先行き不安などから対象顧客層による買い控えや、低価格志向の傾向も強まっています。小売店の寡占化、卸売流通業界の再編等、当社を取り巻く環境は大きな変化が続いています。

強み・今後の展開

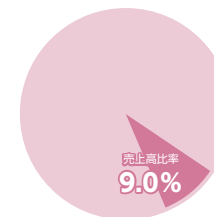
半世紀にわたる哺乳研究や、乳幼児発達研究から生まれる絶え間ない商品開発と改良により、「安全・安心・高品質」という極めて強いリーディング・ブランドとしての認知が浸透しています。今後は大型商品事業の確立と拡大、女性ケアカテゴリの育成による商品カテゴリの拡充により、既存分野における収益性の向上を図ります。また、マタニティ・イベントなどダイレクト・コミュニケーションをさらに強化していきます。



Child rearing 子育て支援事業

サービス内容

保育サービス／事業所内保育運営委託／託児／
 ベビーシッターサービス／幼児教育サービス

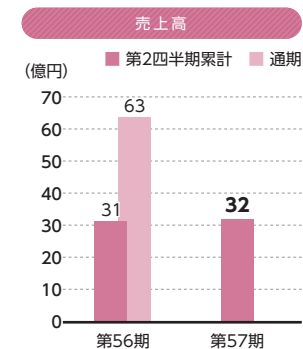
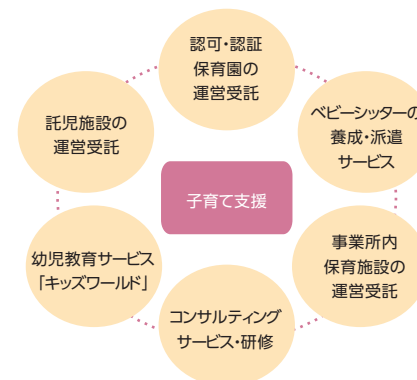


事業環境

子どもは欲しいが働き続けたい、育児をしながら復職したいという女性は増加しており、当社への期待、果たす役割も大きく、具体的には保育園の開設、多様な保育サービスの充実を図るなど、子育て支援事業の展開には追い風が吹いています。

強み・今後の展開

育児用品で培った安心・安全のピジョンブランドのもと、「子どもの育ちを第一に」との考えに沿って推進しています。国内トップクラスの事業規模と質の高いサービス提供により、皆様から信頼を得ています。今後は、人材育成システムの充実、サービス内容の拡充を進め、保育品質のさらなる向上を図り、着実な事業展開を継続していきます。

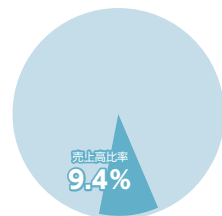


私たちのすべての事業は経営理念「愛」から生まれ、育っています。

ヘルスケア・介護事業

取扱商品・サービス

介護用品／老化予防用品／介護支援サービス



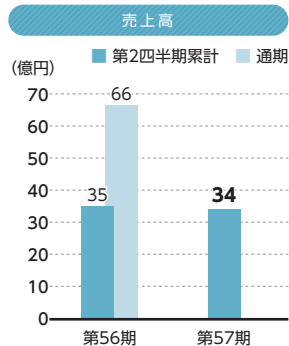
事業環境

2013年には高齢化率が25.2%と、国内人口の4人に1人が65才以上になると予想されています。競合各社の商品や営業活動も活発で新規参入事業者も数多い中、当社グループは育児で培った実績、信用、ブランドをこの分野でも活かした展開を図っています。

強み・今後の展開

お客様の“お困りごと”に応える商品企画力、そしてベビー用品開発で培った品質管理レベルの高さが当社の強みです。また、小売店向けおよび施設・病院向けの両方の販売ルートを持ち、情報提供イベントやコミュニケーション活動にも実績とノウハウを持っています。

今後は、重点商品カテゴリを深耕することにより、商品競争力の向上を図り、また、施設ルートを中心とした営業活動を行います。



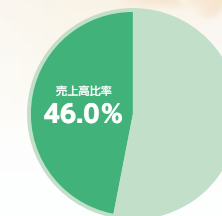
海外事業

取扱商品

ベビー、ママ関連用品

展開エリア

アジア：中国・韓国・シンガポール・インド 他／北米：アメリカ・カナダ 他／中近東：アラブ首長国連邦 他／その他：南アフリカ・イギリス・パナマ・ドイツ 他

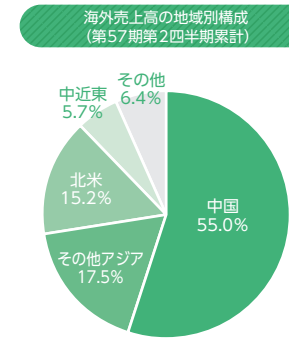
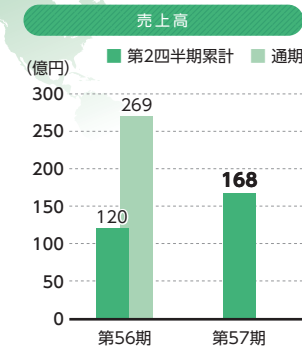


事業環境

中国の年間出生数は1,500万～2,000万人と、日本の14～18倍といわれ、一方、米国の合計特殊出生率はおよそ2.1で、経済先進国の中でも比較的安定した水準にあります。東南アジア、インド、ロシア、中南米など成長が期待できる新興国への展開を、グループ企業の特長を活かしながら進めています。

強み・今後の展開

商品競争力の向上を図るとともに、新規販売チャネルの開拓をグループの成長ドライバーとして積極的な事業投資を行い、生産体制の拡充と事業運営体制の強化を図っていきます。中国では、既存代理店との提携強化を行うとともに、常州工場におけるベビー用紙おむつ生産ラインの本格稼働など、引き続きグループ内生産体制の強化を図ります。また、インド、マレーシア、韓国などでの展開もさらに積極化させます。北米、欧州においては、「mOmma」ブランドを核とした商品カテゴリの拡大を図り新規市場開拓へ着手します。



ピジョンの私

各事業本部のご紹介と、そのリーダーから
皆様へのメッセージです。

He said!/
「事業本部長の鶴です。」



子育て支援事業本部

子育て支援事業本部では現在、病院内・事業所内保育所、認可・認証保育所など190を超える施設運営のほか、幼児教室、ベビーシッターサービスを通じ、約6,000人の子どもたちを日々お預かりしています。

1993年、中央研究所内に初めて保育園を開設し、以来20年にわたって進めてきた事業展開の中で蓄積した経験・ノウハウをもとに、女性の社会進出や待機児童の解消といった社会的要請に応えるだけでなく、日々の生活の中で子どもたちの持つさまざまな力を引き出し、将来に向けた可能性を伸ばしていくための幼児教育の分野にも注力しています。グローバル時代を生きるための英語による異文化体験プログラムに加え、来春には、体験を通じて考える力を育む「MATH(数学)プログラム」など、新たなプログラムもリリースします。これからも利用者の方々のご期待にお応えすべく、新プログラムの開発・提案に取り組んでいく考えです。

この事業を行う上で私たちが何よりも大切にしているもの—それは実際に子どもと接する「保育スタッフの質」であり「人」です。すべてのスタッフが、子どものそばに在るにふさわしい、愛に溢れた心が備わっている人でなければなりません。言葉の話せない赤ちゃんの要望と気持ちを日々研究してきたピジョンらしさを体現できる人であってほしい。そのような想いを込めて、社員研修にも力を注いでいます。

もちろんですが、ピジョンで働く者として、行動規範やコンプライアンスの周知徹底を図っています。

本事業は、規模の拡大を求める前に、どの施設・サービスにも共通する「質の高さ」とその維持を重視しています。一つひとつの施設、一人ひとりのスタッフを大切に育て、子どもたち一人ひとりの笑顔につなげていきたいと思っています。

執行役員 子育て支援事業本部長 鶴 孝則

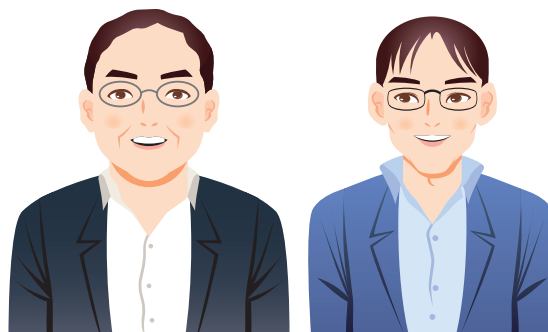
私のモットーは“率先垂範”です。メールやパソコンが多用されるこの時代、単なる言葉や文字だけでは、人を動かし、育てることはできません。まずは「日々の私の言動から」と考えています。私という人間を理解・信頼してもらう、それが2,200人の保育スタッフを動かす力になると思っています。また株主の皆様をはじめ、期待してくださる方々の存在をいつも心強く感じています。皆様のご期待を力に、自らが向上し、事業を成長させていくこと。これこそが「鶴の恩返し」だと考えています。

私とピジョン

このコーナーでは、ピジョン商品のご愛用者、お取引先、マスコミ関係者、投資家、或いは地域の皆様方とピジョンとのかかわりについて、皆様からいただいた貴重なご意見をご紹介します。

“子ども目線”が徹底している
ピジョンの事業所内保育園。

女性が安心して仕事ができる環境を整備し、
企業の成長につなげています。



当社では、ダイバーシティマネジメントの一環として、女性がイキイキ働ける職場作りの推進に力を入れています。その為には、子育て支援が欠かせません。当社は、2010年4月、事業所内保育所「りそなキッズパーク浦和保育園」を開所しました。ピジョンさんには、この保育園を建設する前のコンサルティングから依頼し、開所後の運営も委託しています。

ピジョンさんに決めた一番の要因はその徹底した“子ども目線”です。長年赤ちゃんに携わってきた会社さんだけあって、内装などのこだわりがとにかく細かい！窓の高さやコンセントの位置、手の引き込みを防止したドア、至る所の角をなくした家具など、子どもの考え、視覚、行動を考え抜いた仕様で、大変感心したことを覚えています。おかげ様でこれまで子どもたちはケガもなく安全・安心に過ごせていますし、毎月の定

期的報告からもきめ細やかに運営いただいていることがわかり、とても満足しています。

女性の力なくして企業の成長は難しい時代。今後もりそなキッズパークの運営を通じて女性が自然体で活躍できる環境づくりに、ご支援をいただきたいと思います。



園内は「子ども目線」を熟慮した設計です

埼玉りそな銀行

執行役員
人材サービス部長
土井 仁 様(左)

人材サービス部
グループリーダー
松岡 俊生 様(右)

当第2四半期累計期間の経営成果

売上高は、中国を中心とした海外事業における順調な業績拡大に加え、円安の影響もあり、366億21百万円（前年同期比17.3%増）となりました。増収に加えて事業拡大に伴う生産拠点の稼働向上により、売上原価率が前年同期比で約1.7ポイント低下したことなどで、営業利益は48億14百万円（前年同期比49.3%増）となりました。経常利益は為替水準が円安で推移したことに伴う為替差益の計上により営業外収益が増加し51億61百万円（前年同期比58.0%増）、四半期純利益は31億21百万円（前年同期比63.3%増）と、いずれも前年同期実績を大きく上回りました。

国内ベビー・ママ事業

売上高は、新商品の積極的な市場投入の効果もあって、124億76百万円（前年同期比4.4%増）となりました。セグメント利益は、新商品の発売に伴うマーケティング活動により販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、16億28百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

本年2月にピジョン独自のハグットシートを装備した赤ちゃんの快適を追求したベビーカー「Mahalo（マハロ）」、防ぐ・おとす・うるおす、の3ステップで赤ちゃんのUV対策ができる「UV babyシリーズ」6種類、体によい素材使用のベビーおやつ「元気アップカルシウムシリーズ」6種類、さらには3月にママの好みに合わせて選べる新しい3つのデザインからなるピジョン哺乳びん「母乳実感」シリーズなどを発売しています。

また、ダイレクト・コミュニケーションの一環であるイベントとして、出産前の方を対象とした「プレマクラス」、出産後の方を対象とした「ママクラス」などを当第2四半期累計期間内において20回開催し、合計で約1,400名の方にご参加いただきました。妊娠・出産・育児シーンの女性を応援する「クチコミコミュニティサイト」である「ピジョンインフォ」の会員数は、新規加入会員の獲得により、順調に増加しています。

子育て支援事業

売上高は32億89百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益は採用費用など販売費及び一般管理費の増加などにより、前年同期をやや下回る80百万円（前年同期比2.9%減）となりました。なお、事業所内保育施設につきましては、本年3月と4月に3箇所の新規受託を開始し、サービス内容の質的向上を図りながら、堅調に売上を拡大しています。

ヘルスケア・介護事業

売上高は消耗品を中心に市場環境が厳しさを増し、34億49百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント利益は、効率的な事業運営に努めたことで販売費及び一般管理費が減少し、2億2百万円（前年同期比54.7%増）となりました。引き続き、重点カテゴリに絞った研究の深耕による商品の上市を目指し、また、施設ルートを中心とした営業活動を行っていきます。

海外事業

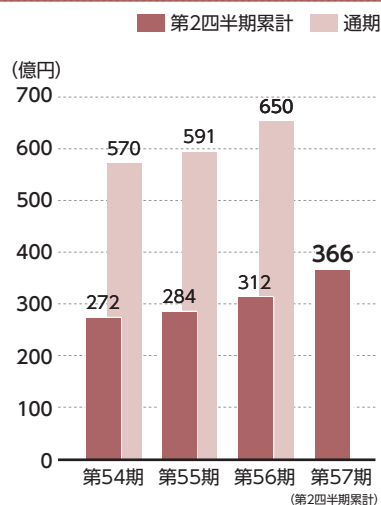
売上高は168億55百万円（前年同期比40.3%増）となりました。セグメント利益は、事業の積極的展開に伴う諸施策により販売費及び一般管理費が増加したものの、46億66百万円（前年同期比73.0%増）となりました。中国においては、マーケティング、販促普及活動の強化に加えて、新商品の継続的な市場投入が奏功し、売上高は前年同期実績を大きく上回りました。さらに、中国国内の生産拠点2箇所においても順調に生産を拡大しています。また、インドにおいては、引き続き当社ブランドの市場浸透を目指して積極的な営業・マーケティング活動を展開しており、今後は、販売・流通体制のさらなる強化を目指すとともに、商品供給体制の整備を図っていきます。北米においては、引き続き商品カテゴリの拡充などによるさらなる事業拡大を目指しています。

その他

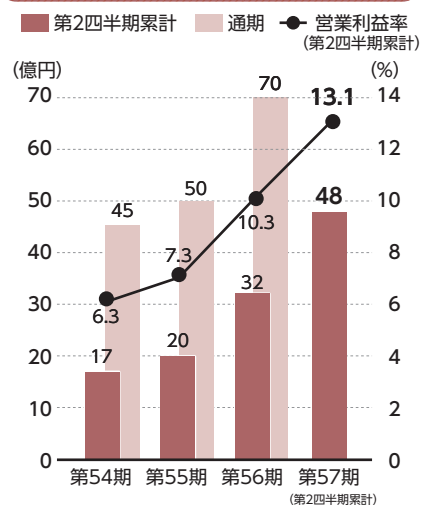
売上高はOEM商品の受注がやや減少し、5億50百万円（前年同期比3.4%減）、セグメント利益は63百万円（前期比13.7%減）となりました。

主な経営指標

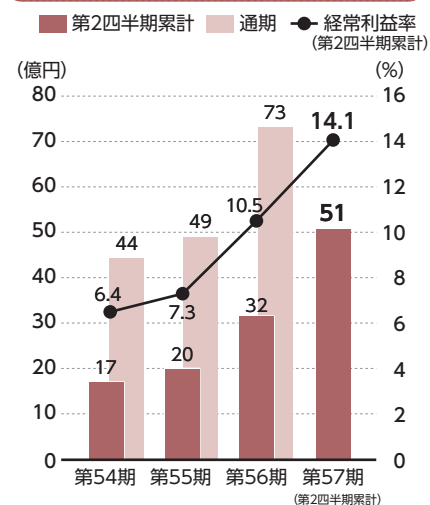
売上高



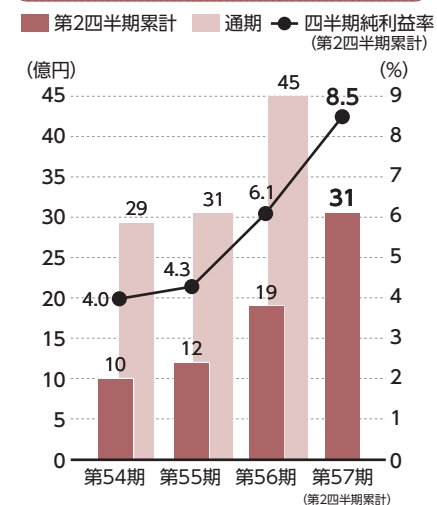
営業利益／営業利益率



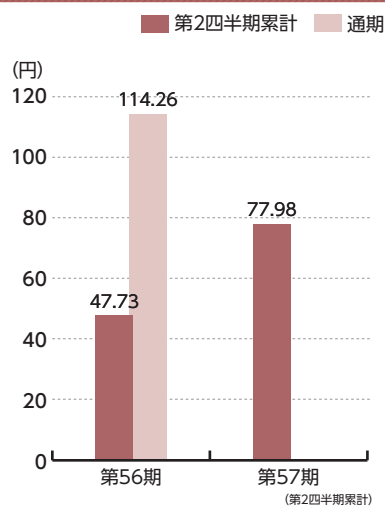
経常利益／経常利益率



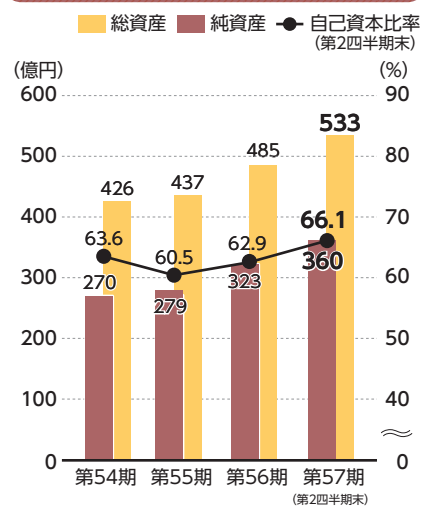
四半期(当期)純利益／四半期純利益率



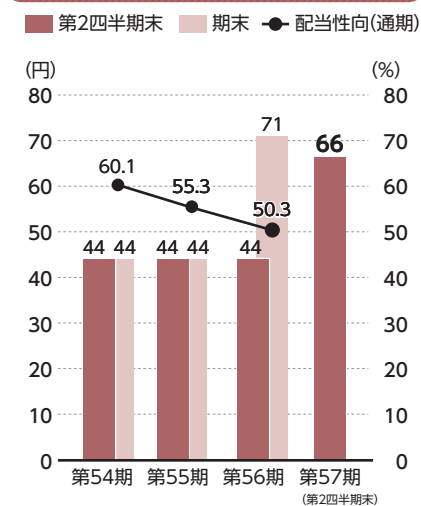
EPS(1株当たり四半期(当期)純利益)



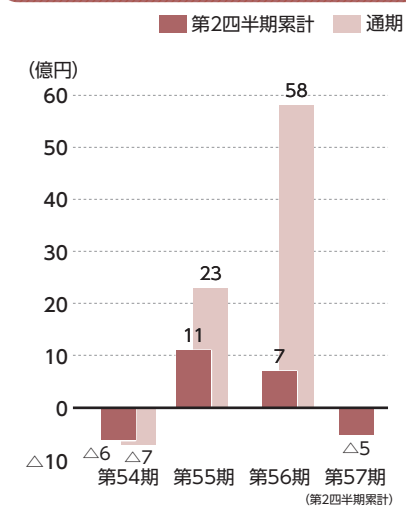
総資産／純資産／自己資本比率



配当／配当性向



フリー・キャッシュ・フロー



※当社は2013年8月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
1株当たり四半期(当期)純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

トピックス、株主アンケート、会社概要

トピックス① インドに生産工場を建設

2013年7月、インド・デリー近郊のグレーターノイダ工業団地内に、主要販売商品であるプラスチック製哺乳びんおよびシリコン製乳首の生産工場を建設することを発表しました。工場は2013年10月に着工、2015年1月以降順次操業を開始する予定で、2020年1月期の年間生産能力は、哺乳びん200万個以上、乳首2,000万個以上となる予定です。

当社では、グローバル・カンパニーとしての成長拡大を追求する中で、インドをはじめとする新規市場の開拓にも取り組んできました。インドでは2009年11月にムンバイに販売子会社を設立以来、情報収集、販路拡大およびブランド構築のための活動を行ってきました。今後もインド市場での事業拡大に向けた体制の強化と収益力の向上を図っていきます。

トピックス③ 1株につき2株の割合で株式分割を実施

当社は、2013年7月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載された株主の所有する当社普通株式を1株につき2株の割合をもって分割しました。株式分割の効力発生日は2013年8月1日となります。

今回の株式分割は、投資単位当たりの金額を引き下げることで、当社株式の流動性を高めて投資家の皆様により投資しやすい環境を整えるとともに、投資家層の拡大を図ることを目的としたものです。

株式分割に伴い2014年1月期の期末配当金予想につきましては、1株当たり配当金61.00円から同30.50円へと修正変更をいたしました。2013年9月2日の通期業績予想上方修正発表に伴い、さらに37.00円へと増額いたしました。

トピックス② 中国市場で紙おむつの生産を開始

2013年7月より、中国市場において、自社工場で生産したベビー用紙おむつ「真綿実感」の出荷を開始しました。中国市場でのピジョンブランドへの信頼度が高まる中、お客様より、ピジョン製のベビー用紙おむつへの要望が高まっていました。今般、常州の自社工場にて生産・出荷を開始したことで、高い品質の紙おむつを、お求めやすい価格で中国現地のお客様にご提供できるようになりました。

今後も現地のお客様のニーズにお応えした商品開発を進めていきます。



株主アンケート結果のご報告

本年4月に第56期報告書のご送付とともに実施いたしました<株主アンケート>につきましては、470名と、大変多くの株主様からご回答いただきました。

今回は新たに「議決権行使の方針」につきましても設問に追加いたしました。 「すべてにおいて行使」された株主様のご回答者全体の半数を占める結果となったことも判明しております。株主の皆様からいただきました感想や改善要望などの貴重なご意見は、これまで同様、経営にフィードバックするとともに、今後の経営方針やIR活動等、当社のさらなる発展につなげていきたいと考えております。

■アンケートのコメント(一部抜粋)

- クール・ジャパンの先陣として、世界に出て行ってみたい。
- 株主である以前に、父親として貴社を信頼し期待しています。
- 正直、哺乳びんや乳首でこれだけの有名な会社であることに驚きを禁じえません。今後何を創り出すのか可能性に期待します。
- 中国に次ぐ、海外事業の拡大に期待しています。

会社概要

(平成25年7月31日現在)

- 設立年月日 昭和32年8月15日
- 事業内容 育児・マタニティ・女性ケア・ホームヘルスケア・介護用品等の製造、販売および輸出入ならびに保育事業
- 資本金 5,199,597千円
- 従業員数 958名(※正社員および契約社員の人数です)
- 本社 〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4番4号
TEL 03-3661-4200(代表)

| | | |
|------|-----------------------|-------|
| ■ 役員 | 取締役最高顧問 | 仲田 洋一 |
| | 代表取締役会長兼取締役会議長 | 大越 昭夫 |
| | 代表取締役社長 | 山下 茂 |
| | 取締役専務執行役員 | 佐久間 隆 |
| | 取締役常務執行役員 | 赤松 栄治 |
| | 取締役常務執行役員(中国事業本部長) | 北澤 憲政 |
| | 取締役上席執行役員(ロジスティクス本部長) | 甘利 和久 |
| | 取締役上席執行役員 | 倉知 康典 |

| | |
|------------|-------|
| 常勤監査役 | 高島 康 |
| 常勤監査役 | 湯田 博毅 |
| 監査役(社外監査役) | 西山 茂 |
| 監査役(社外監査役) | 出澤 秀二 |

| | |
|--|-------|
| 執行役員(経営企画本部長) | 松永 勉 |
| 執行役員(経理財務本部長) | 牧 裕康 |
| 執行役員(人事総務本部長) | 浦狩 高年 |
| 執行役員(開発本部長) | 仲田 祐介 |
| 執行役員(品質管理本部長) | 岩本 忍 |
| 執行役員(国内ベビー・ママ事業本部長) | 橋本 伸行 |
| 執行役員(ヘルスケア・介護事業本部長) | 石上 光志 |
| 執行役員(海外事業本部長) | 増成 裕之 |
| 執行役員(中国事業本部長) | 賀来 健 |
| 執行役員(子育て支援事業本部長) | 鶴 孝則 |
| 執行役員(PIGEON SINGAPORE PTE. LTD. 代表取締役社長) | 高坂 功 |
| 執行役員(THAI PIGEON CO., LTD. 代表取締役社長) | 板倉 正 |

株式の状況など

主要事業所

| | |
|--------|------------------------------------|
| 事業所 | 茨城県稲敷郡阿見町 東京都中野区 |
| 物流センター | 茨城県稲敷郡阿見町 茨城県常陸太田市 兵庫県神崎郡神河町 |
| 研究所 | 茨城県つくばみらい市 |
| 営業拠点 | 札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・ 広島・福岡 |

■ 次の18社を連結の対象にしています。

- ピジョンホームプロダクツ(株) ●ピジョンウィル(株)
- ピジョンハーツ(株) ●PHP兵庫(株) ●PHP茨城(株)
- ピジョンタヒラ(株) ●ピジョン真中(株)
- PIGEON SINGAPORE PTE. LTD.
- PIGEON INDIA PVT. LTD.
- PIGEON MALAYSIA (TRADING) SDN. BHD.
- PIGEON (SHANGHAI) CO., LTD.
- PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO., LTD.
- PIGEON INDUSTRIES (CHANGZHOU) CO., LTD.
- LANSINOH LABORATORIES, INC.
- LANSINOH LABORATORIES MEDICAL DEVICES DESIGN
INDUSTRY AND COMMERCE LTD. CO.
- DOUBLEHEART CO. LTD.
- PIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO., LTD.
- THAI PIGEON CO., LTD.

■ 次の1社について持分法を適用しています。

- P.T. PIGEON INDONESIA

株式の状況

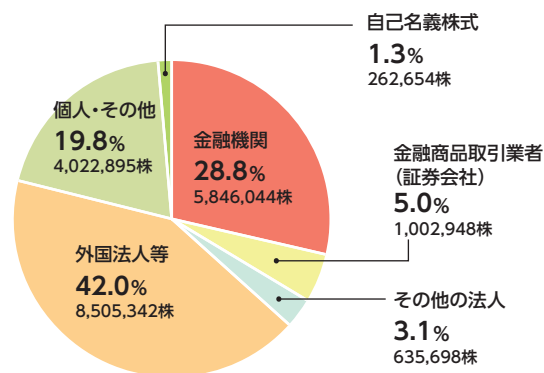
(平成25年7月31日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 60,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 20,275,581株 |
| 株主数 | 7,060名 |
| 自己株式 | 262,654株 |

| 大株主 (上位10名) | 持株数(千株) | 持株比率(%)* |
|--|---------|----------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,121 | 10.60 |
| 仲田洋一 | 1,674 | 8.37 |
| ビービーエイチマシユーズアジアデビデンドファンド | 1,501 | 7.50 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 1,439 | 7.19 |
| ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー | 851 | 4.25 |
| ビーエヌピーパブリカセックサービスクセンブルグジャス デックアパディーングローバルクライアントアセツ | 508 | 2.54 |
| みずほ証券株式会社 | 482 | 2.41 |
| 818521ノムバンククセンブルクエスエープレツジドアセツ フロムノムラマルチシーワイジャパントクフリーダースファンド | 430 | 2.15 |
| ドイツ証券株式会社 | 421 | 2.11 |
| ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリフィデリティファンズ | 366 | 1.83 |

*持株比率は自己株式(262,654株)を控除して計算しております。

■ 株式分布状況 (所有者別)



株主メモ

| | |
|-------------------------------|---|
| 証券コード | 7956 |
| 事業年度 | 2月1日から翌年1月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年4月 |
| 期末配当金受領 株主確定日 | 1月31日 |
| 中間配当金受領 株主確定日 | 7月31日 |
| 株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人 事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 同事務連絡先 (お問合せ先) (郵便物送付先) | 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料 平日9:00~17:00) http://www.tr.mufg.jp/daikou/ |
| (ホームページ) | http://www.pigeon.co.jp/ |
| 単元株式数 | 100株 |
| 公告の方法 | 電子公告 http://www.pigeon.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により、 電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。 |

〈ご案内〉

- 株式に関する住所変更等のお問合せおよびお届出について
株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座について
特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金について
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

インターネットホームページでもIR情報を掲載しています。



ピジョン トップページ



IR情報 トップページ

ピジョン トップページ
<http://www.pigeon.co.jp/>

IR情報 トップページ
<http://www.pigeon.co.jp/ir/index.html>

新商品のご紹介



おしりナップ たっぷりアクア

赤ちゃんのデリケートなお肌を考え抜いた「水で洗い流すようにやさしくふき取る」をコンセプトとしたおしりふきです。“こだわりの新処方”で成分の99%を純水にした化粧水と、新開発の「やわらか&でこぼこシート」で、お肌に負担をかけず、ふき取った後もおしりはサラサラです。



リペアニプル

肌なじみが良く、肌荒れを防いで、お肌にうるおいを与える天然成分100%のスキンケア用オイルです。授乳期のママの乳首や乳房、赤ちゃんのお肌などにお使いいただけます。べたつきやニオイの少ない高精製度のラノリンを使用し、無香料、無着色、防腐剤不使用です。



かんでおいしい葉酸タブレット
カルシウムプラス

妊娠準備期・妊娠中に不足しがちな「葉酸」のほか、鉄やカルシウムといった栄養素と一緒に摂れるタブレットタイプのサプリメントです。味もグレープフルーツ、青りんご、ヨーグルトの3種類が楽しめる、お菓子感覚で毎日飽きずに続けることができます。

妊娠・出産・育児を応援する
情報サイト

ピジョンインフォ 検索

<http://pigeon.info/>



アマゾンの
「ピジョンブランドストア」

ピジョン アマゾン 検索

<http://www.amazon.co.jp/>



表紙の絵について

当社は、未来の科学の夢絵画展「幼稚園・保育園の部」の発明協会会長賞並びに優秀賞を受賞された幼稚園に対して、当社創業者の故仲田祐一が幼児の創造性育成のために公益社団法人発明協会へ寄贈した基金により「仲田祐一奨励金」を毎年協会を通して贈呈しております。表紙の絵は同協会のご協力を得て掲載しているものです。